

衆議院議員総選挙に関するアンケート 回答結果一覧

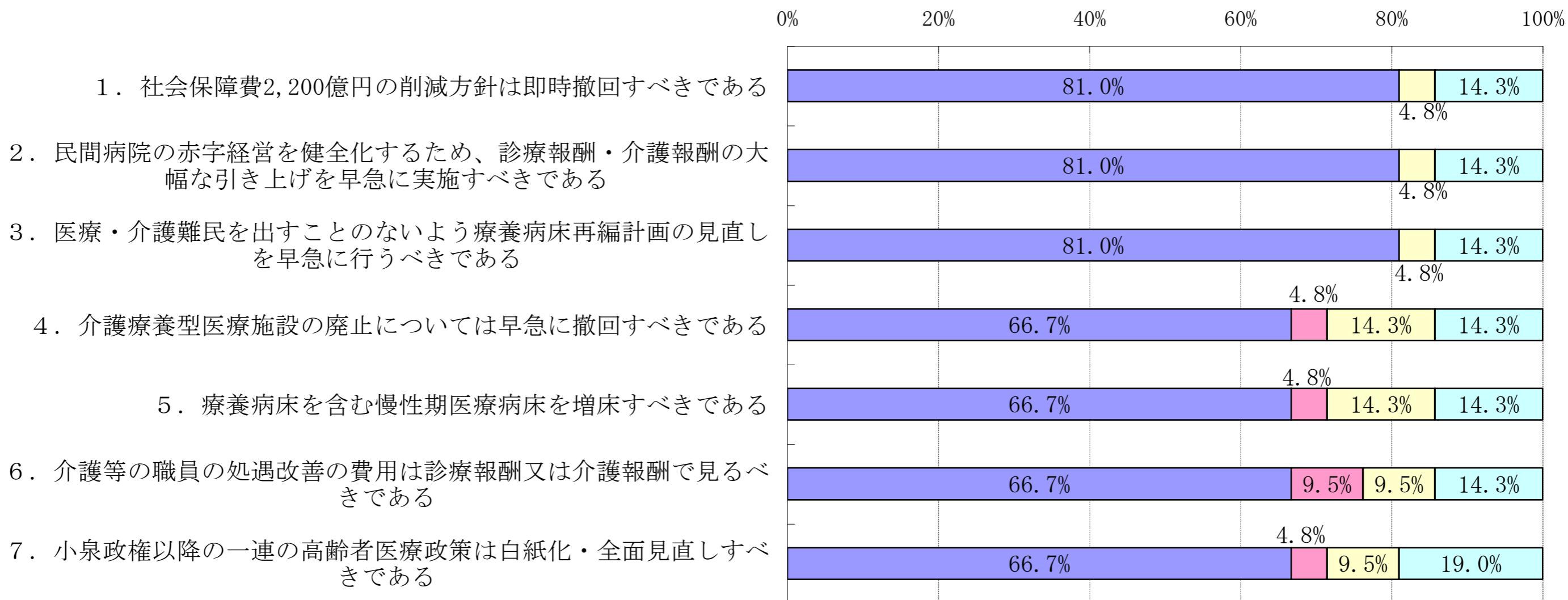
- 調査主体 京都療養病床協会
- 調査日 2009年8月10日～8月17日
- 調査対象 第45回衆議院議員総選挙の立候補予定者（京都府内主要政党・無所属の候補者） 21名

■調査結果

調査対象者数	回収数	回収率(%)
21	18	85.7

回答した立候補予定者全体の割合（n=21）

■賛成 ■反対 ■その他 □回答なし



所属政党	京都選挙区	立候補 予定者氏名	アンケート内容と結果									
			回答日	1. 社会保障費2,200億円の削減方針は即時撤回すべきである	2. 民間病院の赤字経営を健全化するため、診療報酬・介護報酬の大幅な引き上げを早急に実施すべきである	3. 医療・介護難民を出すことのないよう療養病床再編計画の見直しを早急に行うべきである	4. 介護療養型医療施設の廃止については早急に撤回すべきである	5. 療養病床を含む慢性期医療病床を増床すべきである	6. 介護等の職員の処遇改善の費用は診療報酬又は介護報酬で見るべきである	7. 小泉政権以降の一連の高齢者医療政策は白紙化・全面見直しすべきである	8. 民間病院（医療・介護）の経営安定のために寄与したと自負できる政策	その他意見等
自由民主党	1区	伊吹 文明	8月12日	賛成 理由：自民党は既にその方針を決めており、補正予算で実質的に撤廃されていることはご存知と思う。	賛成 理由：我が党は診療報酬の引き上げを公約していることはご存知と思う。	賛成	その他 理由：介護難民といわれる人が出ないように努力する。	その他 理由：症状に応じた治療と介護は区分できないものについて検討の要あり。	賛成 理由：診療報酬については、1・2のとおり。介護報酬については補正で措置したものを恒久化・制度化するよう努力する。施設経営者の皆さんもその前提で職員の待遇を考えてあげて下さい。	回答なし		
自由民主党	2区	山本 朋宏	8月13日	賛成 理由：骨太の方針2009においても「安心・安全を確保するために社会保障の必要な修復をする」としており、22年度予算概算要求基準においては、これまでの方針を転換し、一律的な社会保障費の削減は行わないことにしました。今後も社会保障制度の安定・安心に全力を尽くしていきます。	賛成 理由：救急や産科を始めとする地域医療を確保するため、診療報酬はプラス改定が必要と考えます。また介護職員の賃金引き上げに取り組み事業者に対して3年間助成を行い、介護職員の処遇を緊急かつ確実に改善します。	賛成 理由：介護療養型医療施設に入院されている方の追い出しが生じないよう、必要な医療、介護サービスに答えられる、きめ細やかな受け皿準備を進め、円滑な転換を推進することが重要。介護報酬単位の見直し等を含め、包括的に検討を進めます。	その他 理由：介護療養型医療施設の再編成は、ベッド数を減らすことなく行うこととしており、療養病床から患者を追い出すものではありません。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続ける事が出来るよう、地域ケア体制の準備等、入院患者のニーズに応えられる受け皿準備を進める事が重要。	その他 理由：必要な「慢性期医療病床」は確保しつつ、患者のニーズに応えられる受け皿準備が重要課題。地域全体で急性期、慢性期まで切れ目のない医療が確保できるよう努めます。	その他 理由：介護職員の労働条件が厳しいことは認識しています。このため、平成21年度介護報酬改定で3%のプラス改定を行うとともに、雇用管理改善に取り組む事業主に対する支援を行い、また、平成21年度補正予算における介護職員処遇改善交付金によって、介護職員の賃金引き上げやキャリアアップを図り、処遇改善を進めて参ります。	その他 理由：改革をすすめ、歪みが生じたとき、単に元に戻すという事では何も進みません。この高齢者医療政策も、単に長寿医療制度を廃止し、元の老人保険制度に戻すのでは、当初の問題ある制度に逆戻りするだけではなく、現場が混乱し、低所得者の負担が上がるなどの様々な問題が生じます。制度を廃止するのではなく、生じた課題を見直し、よりよい制度作りを進めます。	残念ながら過去4年間、厚生労働委員会には所属しておりません。	
自由民主党	3区	清水 鴻一郎	8月12日	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	①診療報酬改定本体部分0.4%引き上げ ②介護報酬改定3.0%引き上げ ③福祉医療機構における優遇融資の拡充 (i)耐震整備に取り組む医療機関に対する優遇融資 (ii)地域医療再生計画に基づき実施する整備事業の優遇融資 (iii)病院資金繰り悪化への経営安定化資金による緊急対応 ④介護療養型医療施設の転換条件の緩和(現在、更に撤回を求めている) ⑤補正予算で介護職員の処遇改善実施	国民の医療を守るため全力を尽くします。
自由民主党	4区	中川 泰宏	8月11日	賛成	賛成	賛成	賛成できない 理由：社会的入院の解消・医療費適正化の一義で介護療養型医療施設の廃止を拙速に打ち出し、混乱を招いた政府の責任は認められませんが、方向としては、入院・入所者の適切な処遇をどう確保するかということであり、在宅介護の充実、新型老健への誘導など介護保険全体のあり方の中で考えるべきです。	賛成	賛成	賛成できない 理由：現在の高齢者医療制度は国保に比べ多くの世帯で保険料が軽減されているなど一定の意義が認められる。ただし、75歳という年齢のみによる区分の見直し、公費負担の拡大等の見直しを行い、国民に納得のいく制度に手直しする必要がある。	党社会部会、医療基本問題調査会等において、地域からの医療・介護に関する声を意見として述べてきた。20年度及び21年度予算（補正）において、介護従事者の処遇改善のための予算措置のため、党の諸会合で意見を述べてきた。	

所属政党	京都選挙区	立候補 予定者氏名	アンケート内容と結果								その他意見等		
			回答日	1. 社会保障費2,200億円の削減方針は即時撤回すべきである	2. 民間病院の赤字経営を健全化するため、診療報酬・介護報酬の大幅な引き上げを早急に実施すべきである	3. 医療・介護難民を出すことのないよう療養病床再編計画の見直しを早急に行うべきである	4. 介護療養型医療施設の廃止については早急に撤回すべきである	5. 療養病床を含む慢性期医療病床を増床すべきである	6. 介護等の職員の処遇改善の費用は診療報酬又は介護報酬で見るべきである	7. 小泉政権以降の一連の高齢者医療政策は白紙化・全面見直しすべきである		8. 民間病院（医療・介護）の経営安定のために寄与したと自負できる政策	
日本共産党	3区	石村 かず子	8月14日	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	伏見・乙訓の地域でも、医療体制に数々の問題があります。自公政権の医療をはじめとする社会保障費の削減によって、後期高齢者医療制度や、まともな公的医療保険制度とはいえないような実態が広がっています。誰でもどんな病気でも安心して受けられる医療体制をつくるのが急務です。医療崩壊は、診療報酬を連続して引き下げ、医療、小児科、救急医療などを切り捨ててきた政府の責任です。医師と看護師を計画的に増員し、医療機関への支援を強める必要があります。	
日本共産党	4区	吉田 幸一	8月12日	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	特にありません。	各問いに賛成し、皆様の運動に協力できるようがんばりたいと思います。
日本共産党	5区	吉田 さゆみ	8月17日	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	北部の地域医療の崩壊は申告です。私は3年前から医師会や医療関係者の方々から実情と要望を伺い活動してきました。私は地域医療の拠点となる公的病院への支援や医師確保対策の強化などで、地域医療対策の立て直しに力を尽くします。
日本共産党	6区	浜田 よしゆき	8月17日	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	特になし
社会民主党	2区	藤田高景	8月18日	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	日本の医療費をOECD並に引き上げるよう前職の国会議員とともに厚労省へ働きかけました。「介護労働者の人材確保に関する特別措置法案」を参議院へ民主党とともに提出した際、事務局として準備しました。
無所属	4区	田中 英夫	8月15日	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	前職でないため、回答を差し控えます。当選の栄を得ました際には、清水鴻一郎先生とも連携しながら地域の医療・介護の発展に努めて参ります。何卒宜しく願い申し上げます。